



一重陽の禮文者

一其朝日出之者次々曉到來御遊管出來榮

兄分の俊と存左の通り申す但大和取

陰谷の旨

禁裏御所向御遊管出來榮兄分其方日誌

仰付の旨と其意の如く謹言

九月廿日 内後紀伊守

名表

牧理備前守

名表

阿部伊勢守

名表

徳坂淡路守

子候小守古の旨通り

禁裏御所向御遊管出來榮一の旨

出來榮為兄分何もの内と其意其節盡す被

仰出の乳常御警御場等も見分致し是の

り、厚く御世話の旨、御之意貫

通致して然れども其旨表し候へ都て西

自分江御委任と承り候へ而殊に南時御政

